



2017年3月期 決算説明会

2017年5月23日

 **ワイエイシーホールディングス 株式会社**

(証券コード: 6298)

<http://www.yac.co.jp>

＜将来見通しについて＞

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測値と異なる可能性があります。

＜数字の処理について＞

記載されている金額は百万円未満を切り捨て、その比率については小数第2位を四捨五入しています。

Contents

- 1. ご挨拶、決算の総括**
..... 代表取締役社長 百瀬 武文
- 2. 2017年3月期連結決算の概要**
..... 取締役 常務執行役員 寺本 和政
- 3. 今後に期待**
～「究極の理念」の実現に向かって
ホールディングス体制の発足～
..... 代表取締役社長 百瀬 武文
- 4. 2018年3月期の成長事業**
..... 取締役 常務執行役員 副島 幸雄
- 5. 質疑応答**



1. ご挨拶、決算の総括

..... 代表取締役社長 百瀬 武文

- 売上高は前年に続き過去最高を更新
利益面でも前年実績を大きく凌駕
 - ディ스플레이関連
中小型向け装置が好調
収益性の向上に関する取組の成果が出た
 - メカトロニクス関連
ガーターの通期寄与、エレックスの連結開始
等により大幅増
 - クリーニングその他関連
顧客需要を取り込み、堅調に推移



2. 2017年3月期連結決算の概要

..... 取締役 常務執行役員 寺本 和政

2-1 事業結果



売上高は過去最高を更新。利益面でも前年実績を大幅に凌駕。

(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	前年比 増減額	前年比 増減率(%)
売上高	25,545	29,452	3,906	15.3%
営業利益 (営業利益率)	807 (3.2%)	1,036 (3.5%)	228	28.3%
経常利益	546	1,122	576	105.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	28	790	762	2,719.5%
1株当たり 当期純利益(円)	3.14	88.51	—	—
研究開発費	328	489	161	49.2%
設備投資額	147	454	307	207.8%
減価償却実施額	450	518	68	15.2%

主要Gr会社の開発費の増加

日立工場取得関連ほか

エレックスの連結

2-2 事業別売上金額



前年度M&Aのワイエイシイガーター及び今年度M&Aのワイエイシイエレクトスの業績寄与により、メカトロニクス関連が前年比50%増。

(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	前年比 増減額	前年比 増減率(%)
ディスプレイ関連	14,174	13,207	△966	△6.8%
		スマホ・タブレット向けエッチング装置が好調 一部案件の納期遅れ等により前年比微減		
メカトロニクス関連	9,702	14,555	4,852	50.0%
		ワイエイシイガーターの通期寄与 ワイエイシイエレクトスの連結開始		
クリーニングその他関連	1,668	1,689	20	1.2%
合計	25,545	29,452	3,906	15.3%

2-3 事業別営業利益



ディスプレイ関連において収益性が改善。

(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	前年比 増減額	前年比 増減率(%)
ディスプレイ関連	304	394	89	29.5%
メカトロニクス関連	924	998	74	8.0%
クリーニングその他 関連	194	291	96	49.3%
調整額 (共通経費)	△615	△647	△31	5.1%
合計	807	1,036	228	28.3%

2-4 事業別受注・受注残金額

※受注残には
内示を含む



ディスプレイ関連の受注は2018年度にシフトし、2018年度は回復の見込。(単位:百万円)
前年度を凌駕する大きな受注残を確保。

	区分	2016年3月期	2017年3月期	前年比 増減額	前年比 増減率(%)
ディスプレイ関連	受注	18,996	8,370	△10,625	△55.9%
	受注残	11,597	15,460	3,862	33.3%
メカトロニクス関連	受注	13,812	14,992	1,179	8.5%
	受注残	5,336	5,028	△307	△5.8%
クリーニングその他 関連	受注	2,531	2,747	216	8.5%
	受注残	502	484	△17	△3.5%
合計	受注	35,339	26,109	△9,229	△26.1%
	受注残	17,436	20,974	3,537	20.3%

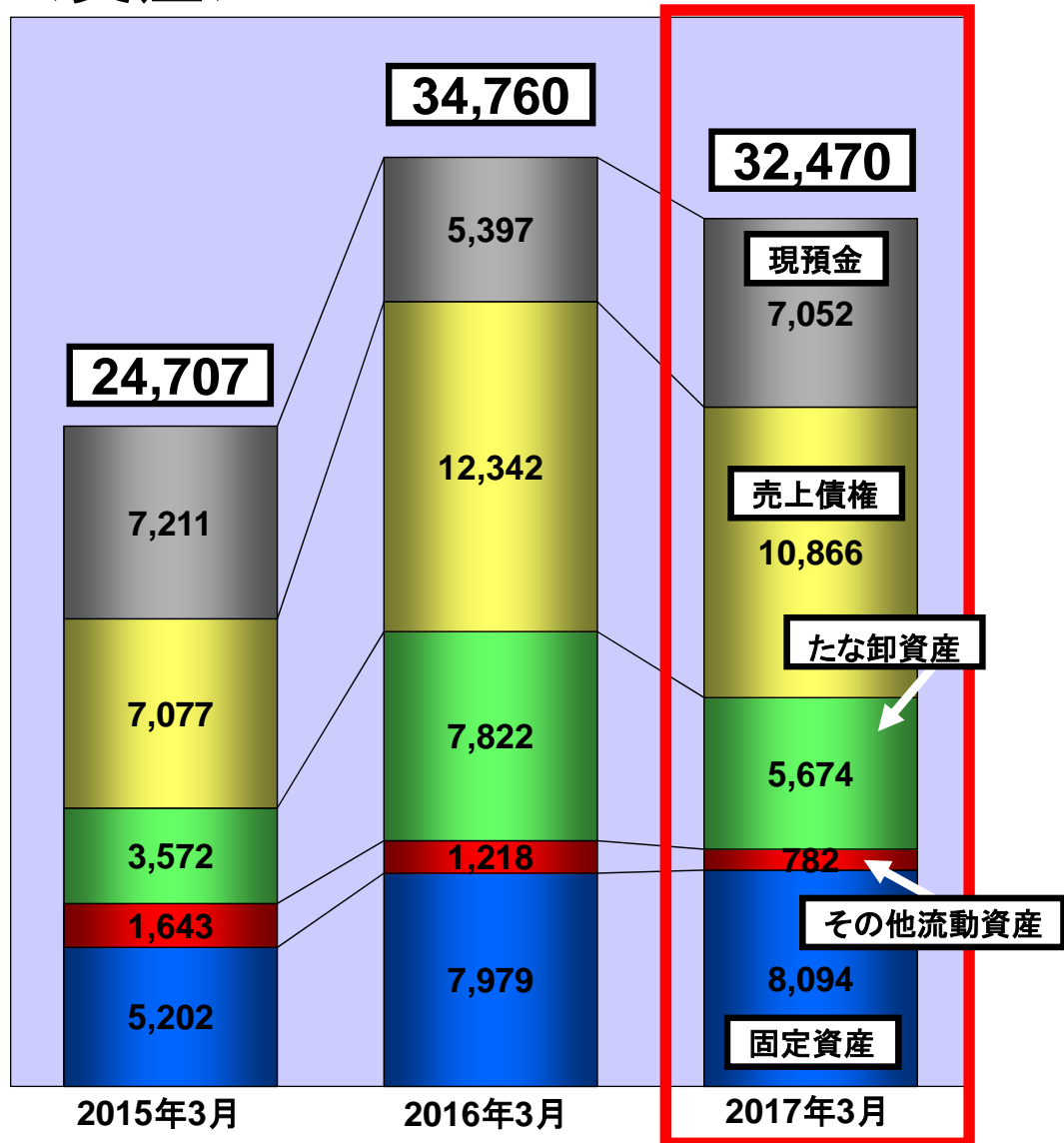
2-5 貸借対照表のレビュー



回収促進により、売上債権が減少。

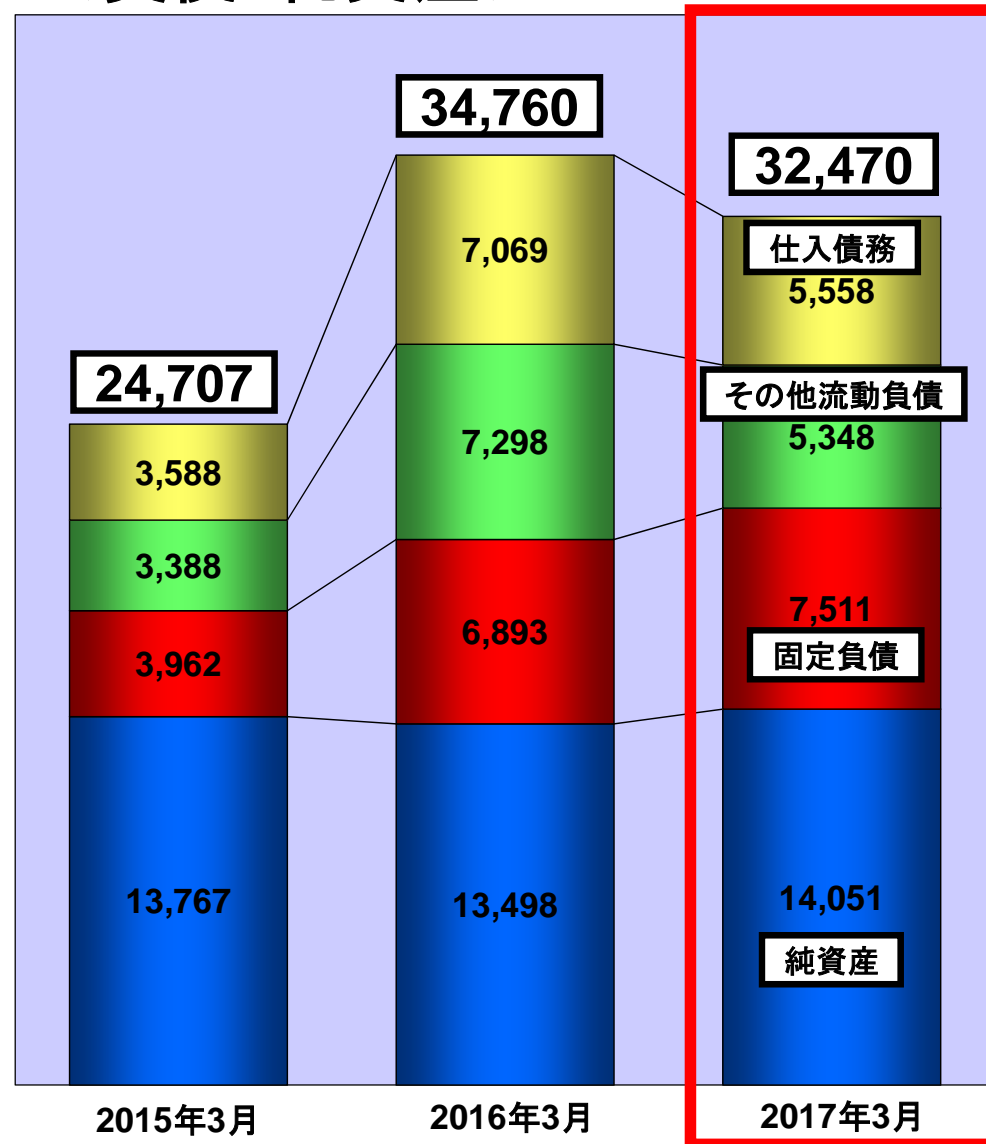
<資産>

(単位:百万円)



<負債・純資産>

(単位:百万円)



2-6 キャッシュフローのレビュー



売上債権の回収促進により、営業C/Fがプラスに転じた。

(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
営業活動によるC/F	△1,106	△4,715	4,369
投資活動によるC/F	686	△3,862	△1,007
財務活動によるC/F	502	5,857	△1,779
現金及び現金同等物の 期末残高	7,966	5,155	6,703

売上債権の回収強化

ワイエイシイエレックス
の株式取得及び貸付

借入金の返済が進む



3. 今後に期待 ～「究極の理念」の実現に向かって ホールディングス体制の発足～

…………… 代表取締役社長 百瀬 武文

3-1 ホールディングス体制について



2017年4月1日よりホールディングス体制発足

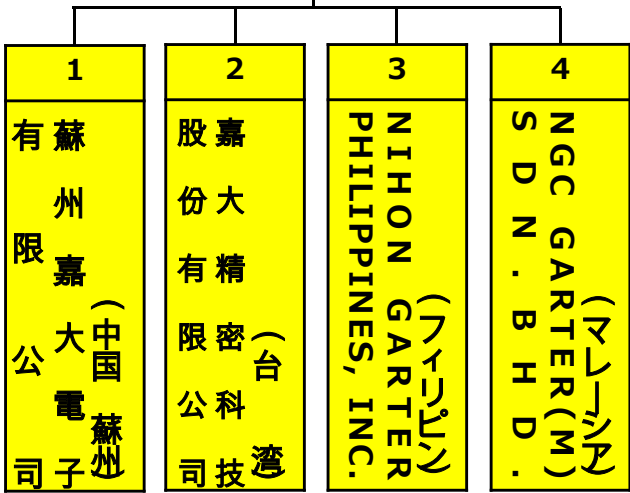
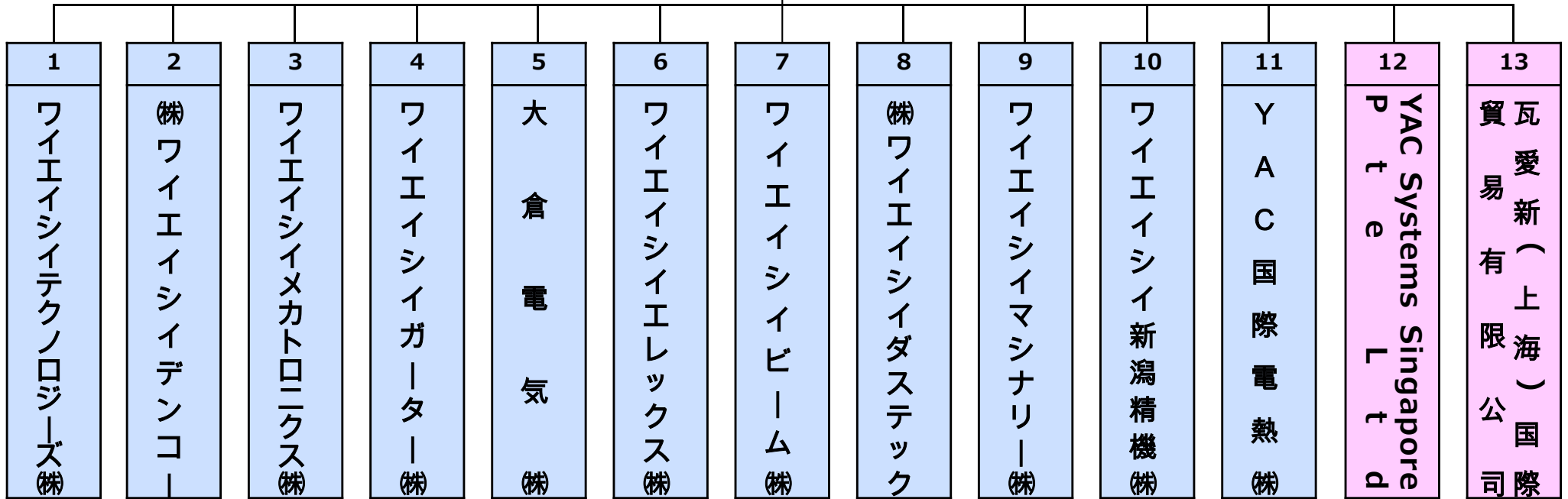
ホールディングス化の目的

ワイエイシイグループの連携と競争により、今後に向かって成長を続ける盤石な体制を作り上げる。

3-2 ワイエイシイグループの構成



ワイエイシイホールディングス(株)



ワイエイシイホールディングス傘下	全18社
国内グループ会社	11社
海外グループ会社	2社
海外孫会社	5社



3-3 ワイエイシイグループ企業理念



【創業理念】

(1973年)

1. 技術集約会社
2. 旺盛なバイタリティー
3. リスクに果敢にチャレンジする
4. 少数精鋭主義

【成長理念】

(1985年)

1. 社員の豊かさを追求する（経済的・精神的）
2. 国・地方自治体に、より多く納税する
3. 新製品の創造・提供
4. 地域社会への貢献
5. 株主を優遇する
6. 環境保全のため省資源・省エネルギーを図る

【究極の理念】

(2016年)

～より多く社会に貢献するために～

1. 社員の成長
2. 雇用の拡大
3. 雇用条件の向上
4. 納税額の拡大

3-4-1 「究極の理念」の実現を目指す



より多く社会に貢献する

「究極の理念」が目指すこと

- (1) 社員の成長
- (2) 雇用の拡大
- (3) 雇用条件の向上
- (4) 納税額の拡大

より多く実現するために

- (1) 規模の拡大
- (2) 高収益体質の確立
- (3) 財務体質の強化
- (4) 全員経営

実現に向けた施策

- (1) ホールディングス体制
- (2) 10年後のビジョンの策定

3-4-2 「究極の理念」実現への基本戦略

(1) 規模の拡大

1. 既存事業領域の拡大

- ◎主力製品のシェアアップ（差別化、横展開、M&A・アライアンス）
- ◎消耗品・サービス事業の更なる拡大
- ◎取り扱い製品の増加（開発、M&A・アライアンス）
→特にAIとIoT関連に重点を置く

2. 新規事業領域への進出（新ニーズの取り込み）

- ◎成長産業への進出・国家成長戦略の活用
- ◎高付加価値の量産製品の発掘・投入

3. グローバル展開の拡大

4. M&A・アライアンス

(2) 高収益体質の確立（プロジェクトによる推進）

1. 高付加価値製品の発掘と市場投入

2. 生産コストの低減

- ◎依命システム
- ◎完成機出荷
- ◎早期検収
- ◎ミス防止
- ◎経費節減

3. すべての部門の生産性向上（働き方改革）

- ◎自分の仕事の効率化を図り、処理時間の半減を目指す

(3) 財務体質の強化

(4) 全員経営

- ◎社員全員が経営に参画する

3-4-3 成功への条件



1. 全員参加の組織的事業経営

- ◎ 目標達成への戦略・戦術はトップが立案し、全社員と議論の上決定し、全社員で実行する
- ◎ 経営手法はP-D-C-Aで推進
- ◎ 事業戦略・戦術をはじめ、すべてにおいてコミュニケーションが取れ、職場は明るく、元気よく、活気に満ちている

2. 意識と活力、そして全員参加の職場の一体感

- ◎ トップの気力、胆力と事業への情熱、使命感、執念と危機感が絶対条件
- ◎ トップと幹部のチームワークによるリーダーシップ
- ◎ これに呼応するすべての社員の目標達成への高いモチベーション

3. 働き方改革を進め、スピードUPと生産性倍増

- ◎ 生産性倍増へ、全員経営により実現を図る

3-5 「究極の理念」実現へのストーリー



「究極の理念」

～より多く社会に貢献するために～

- 1.社員の成長
- 2.雇用の拡大

- 3.雇用条件の向上
- 4.納税額の拡大

1. ホールディングス体制

- ・連携と競争により結果を出す

2. 10年後のビジョンの策定

- ・10年後のビジョンに基づいた中期計画の策定
- ・達成への戦略・戦術は全員が意見を出し合い、全員で実行する

3. 2017～2019年度

- (1)各社の**予算達成**
- (2)3つの**企業文化**の定着化
 - ①グループ各社の連携と競争
 - ②高収益体質の構築
 - ③全員経営の実践

■ 売上 : 350億円
■ 営業利益 : 20億円

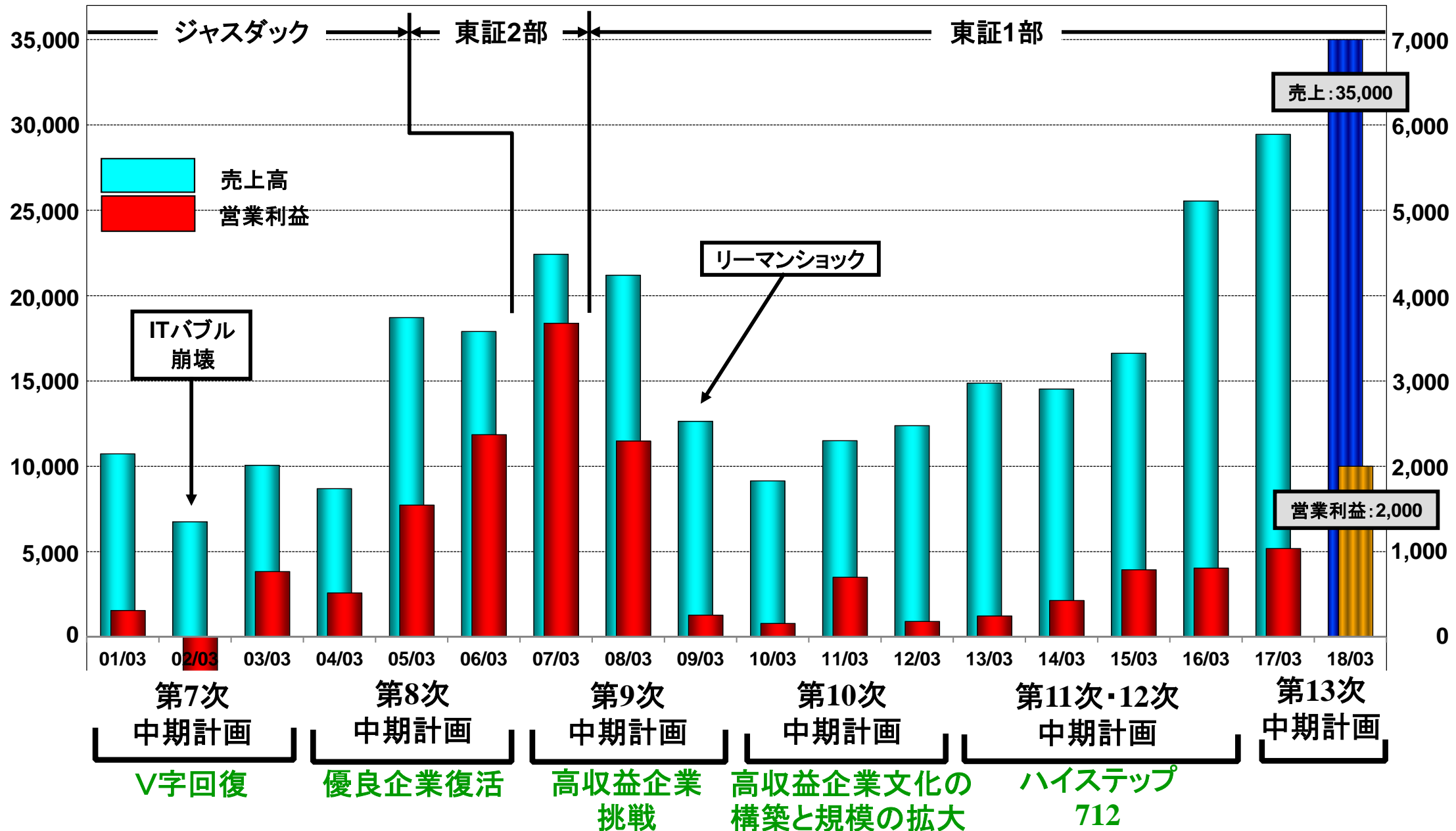
1. ディ스플레이、半導体業界の需要は旺盛
2. 2017年3月期末受注残200億円
3. ワイエイシイエレックスが2018年
3月期は通期で業績に寄与
4. ホールディングス化の効果

3-7 過去の業績と2018年3月期見込



売上高

(単位:百万円) 営業利益



4. 2018年3月期の成長事業

・・・ 取締役 常務執行役員 副島 幸雄

■ディスプレイ事業

- ▲スマートフォンの中小型サイズとTVの大型サイズの需要は今後も旺盛。特にOLEDプロセスを取り込む装置開発を進める。
- ▲フレキシブルOLEDでは、アニールとドライエッチャーに事業機会を得ている。

■半導体事業

- ▲パッケージ革命の取り込み。テーピングマシンはLEDの光半導体に加え、Si半導体のFOWLP用の開発を進める。
- ▲高周波デバイスのセラミックパッケージダイシングは、新興国向けに更に進んでいる。応用でネオジウムのダイシングを取り込む。
- ▲パワー半導体Si-IGBTやSiC-SBD、SiC-MESFETの取り込み。
レーザーアニール、外観検査機、ハンドラの機会大。

■計測制御事業

- ▲原発再稼働において計測機器の需要大。
- ▲再生エネルギー増加においては、電力の需給バランス制御機器の需要増。
- ▲送電のグリット化で基幹送電の増加。制御機器需要増。

■ヘルス機器事業

- ▲透析装置の海外向廉価版を得意とし、世界需要の戦略機を開発中。2018年以降、2016年比2倍の生産体制の予定。
- ▲高齢者の見守りシステムの開発。

4-2 2018年3月期事業計画



(単位:百万円)

	2015年 3月期 (実績)	2016年 3月期 (実績)	2017年 3月期 (実績)	2018年 3月期 (見込)		前年比 増減額 (見込)	前年比 増減率 (見込)
				上期	通期		
売上高	16,622	25,545	29,452	13,000	35,000	5,547	18.8%
営業利益	787	807	1,036	600	2,000	963	93.0%
経常利益	966	546	1,122	450	1,500	377	33.6%
当期純利益	639	28	790	300	1,000	209	26.5%
1株当たり 当期純利益(円)	71.72	3.14	88.51	33.59	111.99	—	—

4-3 事業別売上計画



計画達成に向け、大きな受注残を抱えてのスタート。

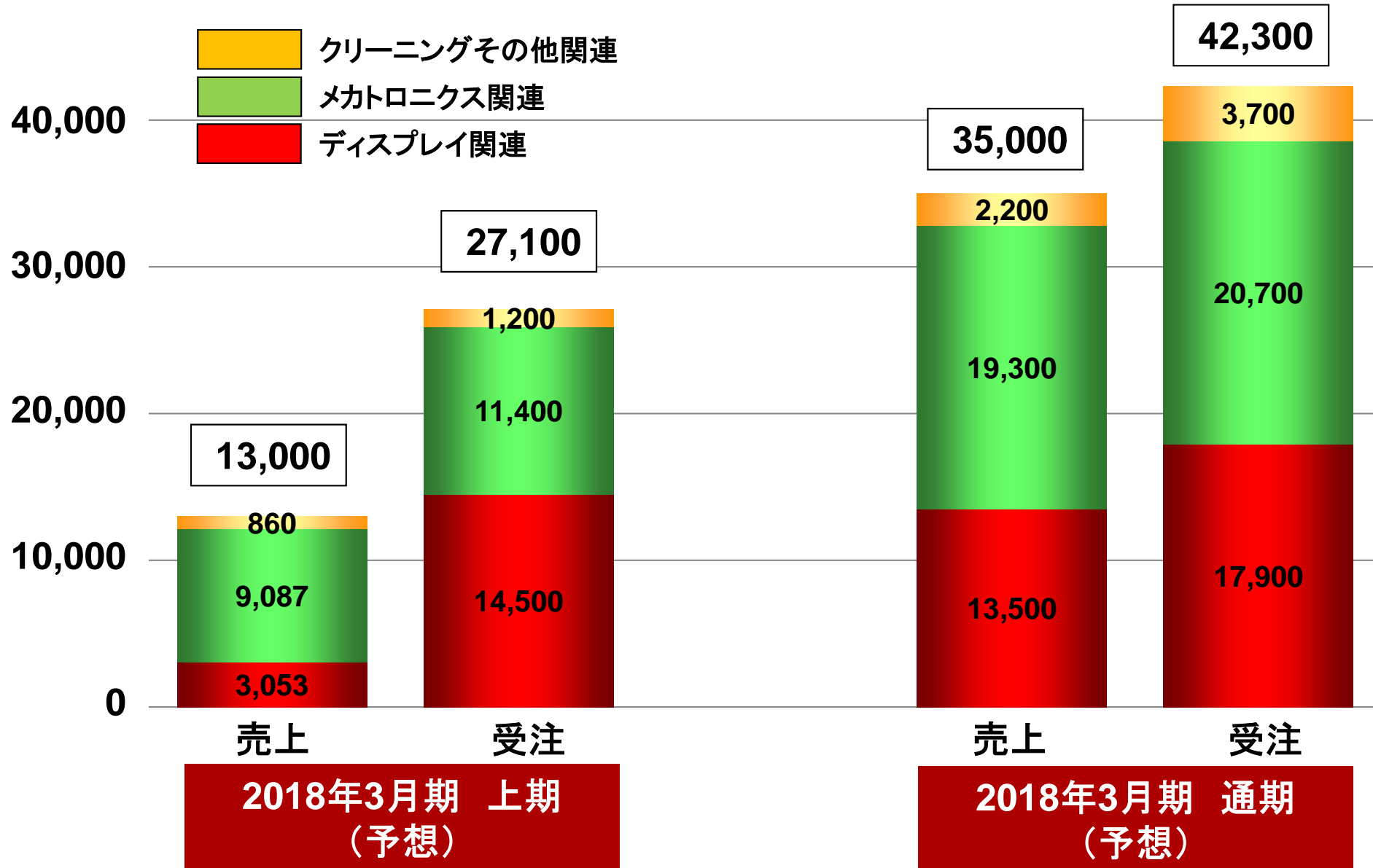
(単位:百万円)

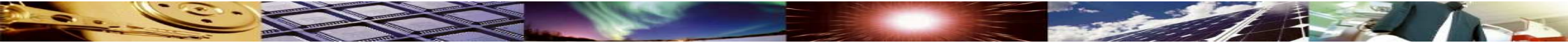
	2017年 3月期 (実績)	2018年 3月期 期首 受注残	2018年3月期(見込)		前年比 増減額 (見込)	前年比 増減率 (見込)
			上期	通期		
ディスプレイ関連事業	13,207	15,460	3,053	13,500	292	2.2%
メカトロニクス関連事業	14,555	5,028	9,087	19,300	4,744	32.6%
クリーニングその他 関連事業	1,689	484	860	2,200	510	30.2%
合計	29,452	20,974	13,000	35,000	5,547	18.8%

4-4 事業別今期予想(売上・受注)



(単位:百万円)





さあ今日も、

ときめきと感動の日々であれ！

しなやか先端技術企業集団
ワイエイシーグループ